

# マイ・タイムラインを作ろう

マイ・タイムラインは、台風等の接近時に家族のとり防災行動を時系列で整理したものです。町民の行動(記入例)を参考に、自分と家族の避難行動を記入しましょう。

## マイ・タイムラインの作成

### 自宅と避難先の状況

#### 浸水や土砂災害に巻き込まれる危険性

##### ●自宅が「浸水」「土砂災害」の危険があるか確認しましょう

①「水害ハザードマップ(P15～P22)」で自宅の場所を確認します。

②自宅に浸水深の色があるか確認します。

※チェックボックスにチェックをつけます。

浸水深	
5m以上	<input type="checkbox"/>
3.0m～5.0m未満	<input type="checkbox"/>
1.0m～3.0m未満	<input type="checkbox"/>
0.5m～1.0m未満	<input type="checkbox"/>
0.5m未満	<input type="checkbox"/>
色塗りなし	<input type="checkbox"/>

③自宅の場所が土砂災害(特別)警戒区域の色があるか確認します。

※チェックボックスにチェックをつけます。

※自宅が土砂災害(特別)警戒区域にある場合は立ち退き避難が原則です。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	<input type="checkbox"/>
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	<input type="checkbox"/>
色塗りなし	<input type="checkbox"/>

#### 避難先の確認

##### ●避難先となる場所を記入しましょう

①「水害避難の行動フローチャート(P1)」で、風水害時の避難先や避難開始のタイミングを確認します。

②避難先は複数の場所を検討します(自宅避難、親戚・知人宅、車中避難、避難所等)。

避難先①

避難先②

避難先③

#### 避難経路の確認

##### ●避難経路の危険箇所を記入しましょう

①自宅周辺や避難先の途中に、危険な場所があるか確認します。

※迂回しないで、通る場合に備えて記入。

キケン箇所

時間軸	大まかな行動	外の状況	防災情報(気象情報)	町民の行動(記入例)	マイ・タイムライン
3日前	●雨風が強くなる前に済ませておく	●台風が発生 ●台風が近づくとつれて雨風が強くなる ●雨がさらに強くなり、川の水位も上昇し始める	●台風予報(早期注意情報) 警戒レベル1相当	●水害ハザードマップを確認する →P15～P22 ●今後の天気予報を確認する →P13～P14 ●家族の今後の予定を確認する →裏表紙 ●自宅の安全対策を確認する →P11 ●非常持出品を準備する →P12 ●携帯電話・スマートフォンを充電する(100%にする) ●車の燃料を確認する	
2日前		●川に雨水が集まり、水量がだんだん増える	●大雨注意報・洪水注意報 警戒レベル2相当	●避難先への移動手段を確認する ●大雨や川の水位状況を確認する →P13 ●交通情報を確認する	
1日前	●避難を開始する	●川の水がいっぱい、溢れるおそれがある	●大雨警報(土砂災害)・洪水警報 警戒レベル3相当	●高齢者や避難に時間のかかる人は避難の準備をする	
12時間前			●キキクル(危険度分布)警戒(赤) 警戒レベル3相当	●高齢者や避難に時間のかかる人は避難する ●その他の人は避難の準備をする	
2時間前		●川の水がいっぱい、いつ溢れてもおかしくない	●土砂災害警戒情報 ●キキクル(危険度分布)非常に危険(紫) 警戒レベル4相当	●災害の危険がある場所から安全な場所に避難する	
			警戒レベル4までに必ず避難	警戒レベル4までに必ず避難	警戒レベル4までに必ず避難
0時間	●身の安全を確保する	●川の氾濫を確認	●大雨特別警報 警戒レベル5相当	●命を守るために最善の行動をとる ※屋外への避難は危険な状況です。少しでも安全な場所に移動する等、直ちに身の安全を確保してください。	
			警戒レベル5 緊急安全確保		

## 作成のポイント

- 避難行動では、「早めの準備」「早めの行動」を心掛けましょう。台風や大雨時は、普段よりも移動に時間がかかります。
- 日用品の買い出しや通院等は、大雨が降る前に済ませましょう。
- 携帯電話・スマートフォンの予備バッテリーを用意しましょう。
- 台風や大雨等と遠出の予定日が重なった場合は、遠出の予定キャンセルも検討しましょう。
- 避難を開始する前は、今後の天候や交通情報、地域の浸水情報等を確認しましょう。
- 避難が完了しても、情報の収集を続けましょう。